

シンバイオ製薬 | 4582 |

当PDF文書は下に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。詳細レポート全体につきましては弊社ウェブサイト (<http://www.sharedresearch.jp>) をご覧ください。



2015年11月6日、シンバイオ製薬株式会社は2015年12月期第3四半期決算を発表した。

四半期業績推移 (累計) (百万円)	14年12月期				15年12月期				15年12月期	
	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	1Q	1-2Q	1-3Q	1-4Q	(進捗率)	通期会予
売上高	174	975	1,348	1,955	408	976	1,332		71.3%	1,870
前年比	-64.5%	20.3%	1.9%	27.6%	135.0%	0.1%	-1.2%			122.1%
売上総利益	32	247	353	527	120	283	395			
前年比	-78.6%	34.1%	29.4%	65.6%	272.1%	14.3%	11.8%			
売上総利益率	18.6%	25.3%	26.2%	26.9%	29.5%	28.9%	29.7%			
販管費	448	893	1,320	1,830	453	931	1,383			
前年比	-9.0%	-9.9%	-10.0%	-8.4%	1.1%	4.2%	4.7%			
売上高販管費比率	257.9%	91.6%	97.9%	93.6%	110.9%	95.3%	103.8%			
営業利益	-416	-646	-967	-1,303	-332	-648	-988			-2,452
前年比	-	-	-	-	-	-	-			-
営業利益率	-	-	-	-	-	-	-			-
経常利益	-454	-713	-941	-1,110	-419	-674	-1,056			-2,481
前年比	-	-	-	-	-	-	-			-
経常利益率	-	-	-	-	-	-	-			-
四半期純利益	-455	-715	-944	-1,116	-420	-676	-1,059			-2,485
前年比	-	-	-	-	-	-	-			-
四半期純利益率	-	-	-	-	-	-	-			-

四半期業績推移 (百万円)	14年12月期				15年12月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	174	802	373	607	408	568	356	
前年比	-64.5%	149.1%	-27.3%	191.0%	135.0%	-29.2%	-4.5%	
売上総利益	32	215	106	173	120	162	113	
前年比	-78.6%	543.6%	19.8%	286.1%	272.1%	-24.5%	5.8%	
売上総利益率	18.6%	26.8%	28.5%	28.5%	29.5%	28.6%	31.6%	
販管費	448	445	427	510	453	478	452	
前年比	-9.0%	-10.8%	-10.1%	-4.3%	1.1%	7.3%	6.0%	
売上高販管費比率	257.9%	55.6%	114.5%	84.0%	110.9%	84.1%	127.0%	
営業利益	-416	-231	-320	-337	-332	-316	-340	
前年比	-	-	-	-	-	-	-	
営業利益率	-	-	-	-	-	-	-	
経常利益	-454	-259	-228	-170	-419	-255	-382	
前年比	-	-	-	-	-	-	-	
経常利益率	-	-	-	-	-	-	-	
四半期純利益	-455	-261	-228	-172	-420	-256	-383	
前年比	-	-	-	-	-	-	-	
四半期純利益率	-	-	-	-	-	-	-	

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

2015年12月期第3四半期の売上高は、SyB L-0501の国内及び海外向けの製品販売等により、1,332百万円（前年同期比1.2%減）となった。

トリアキシン®の国内の売上高が前年同期比6.1%増加したものの、海外売上の一部が前年度に前倒しで出荷された影響を受けたこと等により、製品売上全体では前年同期比1.2%の減少となった。

販売費及び一般管理費は、SyB L-0501の各適応症の臨床試験及び申請準備に関する費用、SyB L-1101及びSyB C-1101の臨床試験及び次相臨床試験の準備に関する費用が発生したこと等により研究開発費598百万円（同9.7%増）、及びその他の販売費及び一般管理費785百万円（同1.3%増）を計上したため1,383百万円（同4.7%増）となった。

これらの結果、営業損失は988百万円（前年同期は営業損失967百万円）となった。経常損失は、為替差損74百万円を主とする営業外費用82百万円を計上したこと等により1,056百万円（前年同期は経常損失941百万円）、四半期純損失は1,059百万円（前年同期は四半期純損失944百万円）となった。

2015年12月期第3四半期における事業の進捗状況は以下の通りとなった。

国内

抗がん剤SyB L-0501（一般名：ベンダムスチン塩酸塩、商品名：トレアキシン®）

抗がん剤トレアキシン®については、再発・難治性の低悪性度非ホジキンリンパ腫及びマンツル細胞リンパ腫を適応症として、業務提携先のエーザイ株式会社（以下、エーザイ社）を通じ、国内販売を行っており、同社からエーザイ社への製品売上は、概ね計画通りに推移した。

初回治療の低悪性度非ホジキンリンパ腫及びマンツル細胞リンパ腫については、2014年2月に国内での第Ⅱ相臨床試験を終了し、欧州におけるアステラス・ファーマ・ヨーロッパの承認申請に対する承認審査手続きと並行し、医薬品医療機器総合機構（PMDA）との申請前事前相談を実施する等、国内における製造販売承認申請の準備を進めている。

慢性リンパ性白血病を対象とする第Ⅱ相臨床試験については、2014年10月に症例登録が完了し、2015年10月に試験終了を終了した。2016年12月期第1四半期に製造開発承認申請を行う予定である。なお、同剤は2012年6月に、慢性リンパ性白血病を対象とするオーファンドラッグ（希少疾病医薬品）に指定され、「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」からの開発要請も受けている。

再発・難治性の中高悪性度非ホジキンリンパ腫の適応症追加については、引き続き検討している。

抗がん剤SyB L-1101（注射剤）/ SyB C-1101（経口剤）（一般名：rigosertib（リゴサチブ））

抗がん剤SyB L-1101（注射剤）については、血液腫瘍の一種である再発・難治性の高リスク骨髄異形成症候群（MDS）を目標効能として国内第Ⅰ相臨床試験を実施しており、2015年1月に症例登録が完了し、2015年10月に試験が終了した。

導入元であるオンコノバ・セラピューティクス社（米国・以下、オンコノバ社）は、標準治療である低メチル化剤による治療において効果が得られない（HMA不応の）高リスクMDS患者を対象とし、全世界から10カ国以上が参加する国際共同第Ⅲ相臨床試験を実施している。同社は、国内第Ⅰ相臨床試験終了後、2015年10月に国際共同試験への参加が決定した。

抗がん剤SyB C-1101（経口剤）については、高リスクMDSを目標効能として実施した国内第Ⅰ相臨床試験が2015年6月に終了した。引き続き、高リスクMDS（アザシチジンとの併用）及び輸血依存性の低リスクMDSを目標効能とした開発を進め、今後は、オンコノバ社が実施を計画している国際共同試験への参加を検討するとしている。

海外

SyB L-0501については、韓国、台湾、シンガポールにおいても販売されており、同社の製品売上は、概ね計画通りに推移した。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチについて

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものでもありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。

SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与えうる利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research.inc

東京都文京区千駄木3-31-12

<http://www.sharedresearch.jp>

TEL : (03)5834-8787 / Email: info@sharedresearch.jp